



**PROJECT-  
With the Earth**

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。



この印刷物は、環境に配慮し、適切に管理された森林資源  
を用紙の材料とし、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少  
ないベジタブルインクを使用しています。

MISAWA



証券コード 1722

# 第16期 株主通信

平成30年度 事業のご報告(中間)  
平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

ミサワホーム株式会社



### 表紙の写真

本年4月に発売した創立50周年記念商品  
第2弾「CENTURY Primore 3」より。  
強固なモノコック構造ならではの吹き抜け  
と高天井を実現しました。

## コーポレートスローガン

私たちミサワホームグループは  
「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、  
良質の「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献します。

## 経営理念

安全・快適で環境を重視した家づくり、街づくりを行います。  
法令を遵守し、倫理を重んじて誠実に行動します。  
地球全体を視野に入れ、環境保全活動などを行い、社会に貢献します。  
企業価値の向上に努め、長期安定的な成長により、  
ステークホルダーとの共存共栄を実現します。  
グループ社員が相互に信頼し、協力し合って能力を発揮できる職場をつくります。  
適正な財務報告・情報開示と適切なリスク管理を行います。

## ごあいさつ

株主の皆様には、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当上半期は、7月の豪雨、大阪府北部や北海道胆振東部での地震、大型台風の度重なる上陸など、様々な自然災害が相次いで発生し全国各地に多くの被害をもたらしました。お亡くなりになられた方も多く、改めてご冥福をお祈りするとともに、被災された方々が一日も早く通常の生活を取り戻されることを祈ってやみません。

当社では、これまでもこうした自然災害などに対する防災・減災ソリューションとして「MISAWA-LCP<sup>\*1</sup>」を提案してまいりましたが、命を守る住宅を提供する企業の責務としてより一層この取組みを強化してまいります。

さて、昨年度よりスタートいたしました中期経営計画「First Step For NEXT50」は、本年9月末日をもちまして計画期間の中間点を迎えました。現在、少子高齢化社会に向けて高齢者や共働き世帯をサポートし、自動車やロボットなどのモビリティ産業とも連携した介護離職ゼロ、子育て離職ゼロを目指す住まいやまちづくりの推進をテーマに事業活動を行っております。

当上半期は、高齢者や共働き世帯の居住ニーズは生活に便利な「まちなか」が中心になってくると考え、その対応を「まちなかソリューション」として提案し、展開いたしました。戸建住宅ではセンチュリーモノコックの120mm厚パネルを採用した都市型3階建て商品「CENTURY Primore 3」を、賃貸住宅では当社の得意とする「蔵」を各住戸に設置し、約3.3mの天井高を確保するなど競争力を持った商品を発売いたしました。また、高齢化により将来の介護が必要になることを想定した「そなえるリフォーム」の提案や、まちなかにおけるマンションリフォームへの取組みも強化いたしました。さらに、医療・介護・子育て支援を中心としたコンパクトシティ型の複合開発については、静岡県三島駅南口東街区の再開発事業を始動させるなど各地で積極的な提案を行いました。

そうした中、当上半期の業績は、受注は6月より4ヵ月連続で前年同月を上回るなど順調に推移してまいりましたが、前半までの受注減と自然災害による引き渡しの遅れなどにより、売上・利益は計画未達となりました。

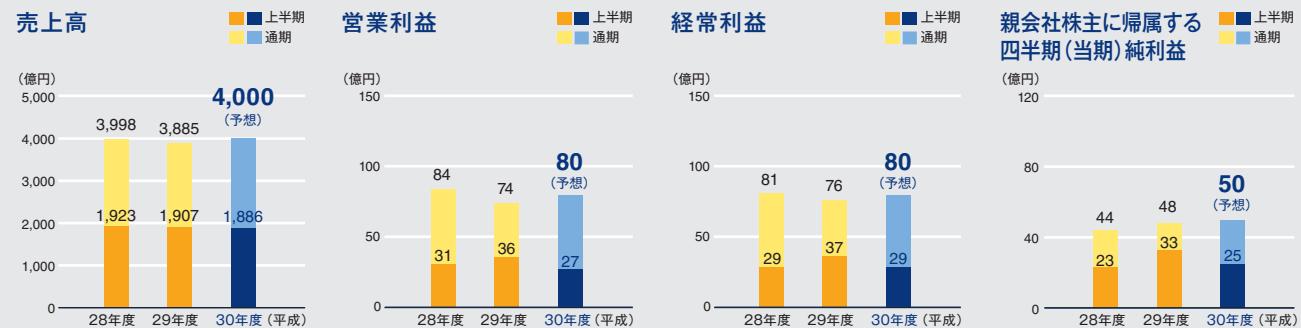
下半期は、好調な受注状況を維持し、マンション分譲や不動産投資を積極的に推進して通期計画の達成を目指してまいります。中期経営計画の重点事業の一つと位置付けている海外事業も、この下半期よりオーストラリア・クイーンズランド州にて本格展開いたします。さらに、夢のある取組みへの挑戦として、新たな宇宙開発や宇宙のビジネス利用を目指した「AVATAR X Program<sup>\*2</sup>」に住宅業界で唯一参画いたしました。

株主の皆様には、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

代表取締役  
社長執行役員 **磯貝 匡志**

## 財務ハイライト



<sup>\*1</sup> Life Continuity Performanceの略で、平常時、災害時及び災害後の生活を安心して継続するための考え方  
<sup>\*2</sup> ANAホールディングス(株)とJAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)が運営する「AVATAR」を活用した宇宙関連事業の立ち上げを目指すプログラム

# 中期経営計画

平成30年度上半期の  
主な取組み

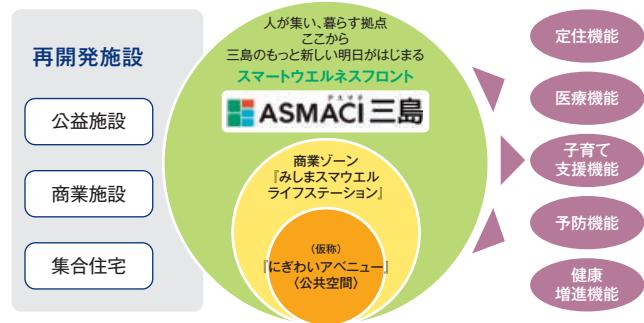
中期経営計画「First Step For NEXT50」は2年目を迎えました。  
子育て離職ゼロ、介護離職ゼロを目指し、生活に寄り添うまちづくりを  
実現するために「まちなかソリューション」を推進しています。

## 三島駅南口東街区再開発事業が始動

本年8月、当社を代表企業とする「アスマチ三島プロジェクト共同企業体\*1」は、三島市及び三島駅南口東街区市街地再開発準備組合との間で事業協力協定を締結しました。2021年度の着工、2025年の竣工を目指し、三島駅前のにぎわい創出に向けた様々な取組みを進めていきます。

アスマチ三島プロジェクトでは、「「健幸」都市 三島の新しい明日をひらくスマートウエルネスフロント」をコンセプトに、住宅や商業、医療、ホテル、健康増進施設等を複合したスマートウエルネス施設を建設することにより「「健幸」都市」の実現を目指します。また、市民が集い暮らす、新たな拠点をつくることで三島市の玄関口である三島駅前に賑わいを創出し利便性を向上させる計画となっています。当社グループは、本プロジェクトを都市部で安心して暮らすためのモデルケースとすべく、プロジェクト構成企業や地域の方との連携を密にして未来を見据えた新しいまちづくりを目指します。

\*1 構成企業は、当社のほか、(株)ミサワホーム静岡、東レ建設(株)、野村不動産(株)、三菱地所レジデンス(株)、(株)アール・アイ・エーの6社



ASMACI (アスマチ)について  
「明日を楽しく、明日を元気に」の思いを含め、地域の問題解決に向けて開発を進める未来志向のまちづくりを訴求するため、「明日」や「未来」をイメージさせる「明」の文字をイメージしたブランド名です。オフィスビルやマンションをはじめ、医療・介護・子育て支援を中心に社会的課題の解決に向けた複合開発や地域の高齢化に対応したコンパクトシティ型の不動産開発など、未来を見据えたまちづくり事業を展開します。

## リフォーム事業の新ブランド 「ミサワリフォーム」の展開開始



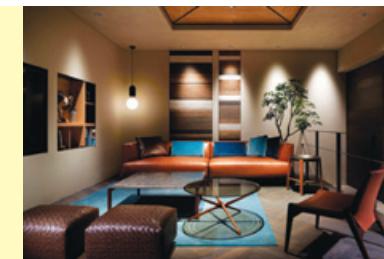
当社は、リフォーム事業のブランドを本年10月1日付で「ミサワホームイング\*2」から「ミサワリフォーム」へ変更しました。当社グループは、中期経営計画のもと戸建住宅事業に加えて資産活用事業、リフォーム事業、まちづくり事業に注力して各種施策に取り組んでいます。これにより、リフォーム・リノベーション工事の対象も戸建住宅からマンション、オフィスビル、ホテル・旅館、商業施設など多岐にわたるようになりました。新ブランド「ミサワリフォーム」では、こうした事業領域の変化・拡大に対応し、戸建住宅以外の非住宅やマンション等のリフォームをさらに強化していきます。

\*2 「ミサワホームイング」は、住まい(HOME)は建てて終わりではなく現在進行形(ing)で手を加えながら理想の空間と暮らしをデザインし、資産価値も高めていくという考え方を表現した当社の造語で、昭和49年から主に戸建住宅のリフォームを対象に使用してきました。

TOPIC

### コンサルティングサロン 「ミサワリフォーム AOYAMA SALON」をオープン

首都圏のリフォーム子会社であるミサワリフォーム株式会社は、本年10月にデザインリフォーム専用コンサルティングサロン「ミサワリフォーム AOYAMA SALON」(東京都港区北青山)を開設しました。このサロンではVR(仮想現実)技術を活用して分かりやすい提案を行っていくほか、サロン周辺の高級家具・住宅設備メーカーとの連携により、満足度の高いリフォーム提案に取り組んでいます。



## ノンリコオプション対応の 分譲住宅を全国で販売

当社は、一般社団法人移住・住みかえ支援機構(JTI)の「かe-せるオプション」を活用し、住宅のノンリコース\*3化を実現する仕組み(ノンリコオプション)を加えた「ミサワライフデザインシステム」を提供しています。「ヒルズガーデン湘南羽鳥」(神奈川県藤沢市)は全国で初めてのノンリコオプション対応の分譲地です。このほか全国の郊外だけでなくまちなかにもノンリコオプション対応物件を投入し、分譲住宅の販売拡大を図りました。

\*3 ノンリコースとは、償還・償還請求を行わないこと

\*4 大手住宅会社10社が設立した「優良ストック住宅推進協議会」において推進する流通システムのことで、スムストック住宅販売士が既存住宅の査定を行い、優良ストック住宅と認定します。

貸せる

JTI「マイホーム借上げ制度」を活用すれば、安定した家賃収入を得られます。

\*かせるストック証明書(定額型)を発行する必要があります。

売れる

「スムストック\*4」を活用することで、住まいの価値を適正に評価して売却できます。

住み継ぐ

長期保証制度やアフターサービスによって、世代を超えて住み継げます。

JTIの  
「かe-せるオプション」を利用した  
「ノンリコオプション」なら

業界初  
返せる

いざという時に住宅ローンの返済を肩代わりしてもらえる  
「返せる所有」で実質的なノンリコース化を実現します。

# 空き家問題への取組み

当社グループは、住まいに関する様々な相談をワンストップで受け付ける窓口「住まいるりんぐDesk\*」を開設し、全国の営業拠点に設置しています。空き家に関する相談もこの窓口で受け付け、グループの総合力を生かした体制を構築して空き家サポート業務を展開しています。今後もグループ内の連携を一層密にして空き家問題解消に向けた取組みを進めていきます。

※平成27年の開設以来、相続問題や住替え、転売、ローンの借換え、空き家管理等について、専門家によるバックアップ体制のもと、受付窓口のスタッフが適切に対応しています。また、コールセンターによる24時間365日電話受付も行っていきます。



住まいるりんぐDesk

平成30年5月

## 東京都が公募した「東京都空き家利活用等普及啓発・相談事業」事業者に選定

当社は、「住まいるりんぐDesk」を通じて得たこれまでの実績と知見をもとに、空き家利活用等の普及啓発活動に取り組むとともに、グループネットワークを活用した相談受付とその対応を開始しました。

平成30年6月

## ミサワホーム不動産株式会社が東京都の「空き家コーディネーター設置事業」に採択

空き家活用ビジネスを考える起業家向けに専用の相談窓口を開設し、空き家物件の情報提供や相談受付を実施するとともに、空き家所有者に対しては賃貸管理経営のサポートを行っています。



\*巡回サービス、家財整理は、ミサワホームグループの提携会社との直接契約となります。



## TOPICS トピックス

Topics

1

### 29年連続 グッドデザイン賞受賞



木質系工業化住宅「CENTURY Primore 3」や障がい者グループホームを核としたコミュニティ「cha-cha town」など計5点が受賞しました。これにより、平成2年の初受賞以降、住宅業界唯一の29年連続受賞となり通算受賞点数は151点となりました。この受賞実績に裏付けられたデザイン力を積極的に訴求するとともに、優れた商品やサービスを開発し、「安全・安心・快適」な住まいを提供していきます。



「CENTURY Primore 3」



「cha-cha town」

Topics

3

### 業界初「カスタマーサポート表彰制度」最優秀賞を受賞

当社は、公益社団法人企業情報化協会が主催する「平成30年度カスタマーサポート表彰制度」において住宅業界初の最優秀賞を受賞しました。

コールセンターやWebサイトを活用したオーナーサポート体制、またIoTを活用してオーナー様満足度の向上を目指した新しいサービスの展開などが総合的に評価され、同協会からは「企業の総合力でオーナー対応する文化への変革を実現している」との講評をいただきました。



Topics

2

### 第12回キッズデザイン賞「キッズデザイン協議会会長賞」を受賞



いきものたちの巣の工夫や役割を通して、「住まいは子育てのためにある」ことを親子で感じてもらうWebコンテンツ「いきものたちの巣まい図鑑」が、キッズデザイン賞の上位賞となる「キッズデザイン協議会会長賞」を受賞しました。上位賞の受賞は昨年の「男女共同参画担当大臣賞」に続き、2年連続となりました。このほか、保育園など3件の子育て支援施設がキッズデザイン賞を受賞しました。これにより、第1回から12年連続での受賞となり通算受賞点数は50点となりました。



「いきものたちの巣まい図鑑」



Best Customer Support of the Year 2018



# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS 連結財務諸表(要旨)

## Point 1 資産の部

前期末に比べ69億円増加し、2,613億円となりました。これは主に、たな卸資産及び投資有価証券等の増加によるものです。

## Point 2 負債の部

前期末に比べ53億円増加し、2,025億円となりました。これは主に、未成工事受入金及び有利子負債等の増加によるものです。

## Point 3 純資産の部

前期末に比べ15億円増加し、587億円となりました。

## Point 4 配当の状況

当上半期末の配当はございません。なお、当期末の配当金は、1株当たり20円を予定しています。

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当期から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成30年9月30日現在	前 期 平成30年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	167,827	163,243
固定資産	93,493	91,166
有形固定資産	62,871	62,333
無形固定資産	7,949	8,381
投資その他の資産	22,671	20,451
<b>資産合計</b>	<b>261,320</b>	<b>254,410</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	146,026	136,957
固定負債	56,516	60,270
<b>負債合計</b>	<b>202,542</b>	<b>197,228</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	54,863	53,179
資本金	11,892	11,892
資本剰余金	2,878	2,877
利益剰余金	40,101	38,417
自己株式	△8	△8
その他の包括利益累計額	1,816	1,755
その他有価証券評価差額金	592	424
土地再評価差額金	△440	△440
為替換算調整勘定	41	36
退職給付に係る調整累計額	1,622	1,735
<b>非支配株主持分</b>	<b>2,097</b>	<b>2,246</b>
<b>純資産合計</b>	<b>58,778</b>	<b>57,181</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>261,320</b>	<b>254,410</b>

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成30年4月 1日から 平成30年9月30日まで	前上半期 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>188,627</b>	<b>190,744</b>
売上原価	148,241	148,966
売上総利益	40,385	41,777
販売費及び一般管理費	37,618	38,094
<b>営業利益</b>	<b>2,767</b>	<b>3,683</b>
営業外収益	601	679
営業外費用	448	570
<b>経常利益</b>	<b>2,921</b>	<b>3,792</b>
特別利益	2	10
特別損失	100	45
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>2,822</b>	<b>3,756</b>
法人税、住民税及び事業税	569	526
法人税等調整額	△161	△1
<b>四半期純利益</b>	<b>2,414</b>	<b>3,231</b>
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△130	△71
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,545</b>	<b>3,302</b>

## Point 5 売上高

前上半期に比べ21億円減少し、1,886億円となりました。マンションの売上増加などまちづくり事業は好調だったものの、戸建住宅の完工棟数の減少により減収となりました。

## Point 6 営業利益及び経常利益

営業利益は前上半期に比べ9億円減少し、27億円となりました。また経常利益は前上半期に比べ8億円減少し、29億円となりました。販売単価の見直し、販管費の改善を実施するものの、販売棟数減少により減益となりました。

## Point 7 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産や営業貸付金の増加により、営業活動による資金の支出は27億円となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成30年4月 1日から 平成30年9月30日まで	前上半期 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,724	4,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,167	△6,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,627	△4,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,263	△6,313
現金及び現金同等物の期首残高	58,790	54,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,526	48,030

## 1 SDGs\*1との関連性を整理したCSRレポート「HEARTH」の発行

平成11年に住宅業界初の「環境活動報告書」を作成してから通算20回目の発行となりました。今回のレポートでは社会を取り巻く様々な課題の中で当社グループが重点的に取り組むべき項目を「CSR重要課題」として見直し、テーマ別に紹介をしています。また、この課題とSDGsの17の目標との関連性についても整理し、レポートの各章に記載しました。SDGsは平成27年の国際サミットで採択された国際的な共通目標であり、企業の社会的責任として積極的な取組みが求められています。当社としても健全な企業活動を通じて一層社会に貢献していくことを目指していきます。

\*1 Sustainable Development Goalsの略

CSR重要課題	SDGsとの関連
低炭素で循環型の住まいづくり	7 再生可能エネルギー、11 持続可能な都市、12 持続可能な消費と生産、15 陸域生態系
安全・安心な住まいづくり	3 健全な生活と福祉、11 持続可能な都市、13 気候変動
少子・高齢化社会への対応	5 ジェンダー平等、8 豊かさと成長、11 持続可能な都市
お客様満足度の向上	11 持続可能な都市、12 持続可能な消費と生産
働く環境の整備と働き方改革	3 健全な生活と福祉、4 質の高い雇用と経済成長、5 ジェンダー平等、8 豊かさと成長
事業活動の環境負荷低減	7 再生可能エネルギー、9 産業と資源効率、12 持続可能な消費と生産、15 陸域生態系

## 2 千葉県勝浦市で海岸清掃活動を実施

本年7月、環境・社会貢献活動の新しい取り組みとして、千葉県勝浦市の部原海岸において社員とその家族等総勢82名で清掃活動を実施しました。また、同日、NPO法人プライムシティ・生きがい村勝浦が運営する村内に「ミサワホームの森 勝浦」を開設し、記念式典や農作物収穫体験などを実施して自然環境保全に対する理解や地域の方との交流を深めました。今後も環境保全活動を継続し社会に貢献していきます。



## 3 サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)に採択

当社及び当社グループ6社は、国土交通省が実施する平成30年度(第1回)サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)の「LCCM住宅\*2部門」に応募し、その提案が採択されました。今回の提案には、省CO<sub>2</sub>だけでなく防災や健康にも配慮した住宅と、その普及促進のためのツールを盛り込みました。当社グループはこれを機に、LCCM住宅の普及促進に一層努めるとともに、建物の長寿命化や快適性の向上のほか、住まい手の健康寿命の延伸にも寄与する住まいの開発に取り組んでいきます。

\*2 LCCMはLife Cycle Carbon Minus(ライフサイクルカーボンマイナス)の略で、建設から居住、解体までの住宅のライフサイクル全体を通してCO<sub>2</sub>排出量収支をマイナスにする住宅のこと

## 自然災害に備える 防災・減災ソリューション 「MISAWA-LCP」 の住まいづくり

毎年のように発生している大規模自然災害に対し、どうしたら「いのち」と「暮らし」を守り、同時に社会的な機能を持続させることができるのか。そのために住まいづくりに求められているものは何か。ミサワホームは過去の自然災害に学び、被災者の声に耳を傾けながら一つ上の安全・安心を追求してきました。災害が発生しても安心して自宅での生活が続けられる「MISAWA-LCP」の住まいづくりは、ふだん快適な住まいが災害

当上半期は、多くの自然災害により列島各地で深刻な被害が発生しました。6月の大阪府北部地震、7月の西日本を中心に降り続いた記録的豪雨、9月には特に近畿地方に大きな被害をもたらした台風21号、そしてその翌日の北海道胆振東部地震。そのほかにも各地で落雷やゲリラ豪雨がありました。こうした災害による被害の影響は大きく、今も復旧活動が行われています。被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

\* Life Continuity Performanceの略で、平常時、災害時及び災害後の生活を安心して継続するための考え方です。

時にはそのままシェルターの役割を果たし、復旧まで家族や地域の暮らしを支えます。「MISAWA-LCP」では、これまでミサワホームが提案してきた様々な自然災害対策を整理し、日常の「備え」、災害時の「守り」、復旧までの「支え」という3つの「SAFETY SOLUTIONS」で安全・安心な住まいづくりを提案しています。

### 1st SAFETY SOLUTIONS

#### 備えるデザイン

ふだんの暮らしの中で、「もしも」にしっかり備える家へ。



- 災害備蓄収納として活用できる大収納空間「蔵」
- セキュリティ収納
- スマートフォン連携インターホン

### 2nd SAFETY SOLUTIONS

#### 守るデザイン

様々な自然災害から、ご家族と財産を守る家へ。



- 地震の揺れを最大約50%軽減できる制震装置「MGEO」
- 住宅への浸水被害を最小限に抑える「ワンタッチ防水シート」
- 耐震性・耐風性に優れた「モノコック構造」

### 3段階の SAFETY SOLUTIONS

### 3rd SAFETY SOLUTIONS

#### 支えるデザイン

災害発生後も、自立した快適な暮らしを復旧まで支える家へ。



- 建物ごとのリアルタイム震度及び被災度を判定できる被災度判定計「GAINET」
- 高断熱・高气密設計
- 微気候デザイン
- エコキュート



# SMART STYLE H スマートスタイル 新・スキップ蔵

本年10月、木質系企画住宅ブランド「SMART STYLE」に、共働きファミリーのスマートな暮らしをサポートする新タイプ「SMART STYLE H 新・スキップ蔵」をラインアップしました。大収納空間「蔵」やスキップフロアを組み合わせ、5層からなる開放的な空間を実現するとともに、毎日の家事を楽にする「水まわり集中設計」や家事の効率を高める「サーキュレーションプラン」を採用しました。また、ZEHとIoTライフサービス「Link Gates」の標準化で快適な暮らしを実現します。



## 平屋にプラスもう一層。空間も、生活も、豊かさプラス。「MISAWA ONE」に平屋をラインアップ

木質系工業化住宅「MISAWA ONE」に平屋タイプのGFシリーズをラインアップしました。コンパクトでありながら高天井で開放感とゆとりが感じられる空間構成が特長です。「センチュリーモノコック構法」の採用により大開口と高断熱を両立するとともに、太陽光発電システムの搭載可能量を増やせる異種勾配屋根の採用などにより、多様なお客様のニーズに応えます。

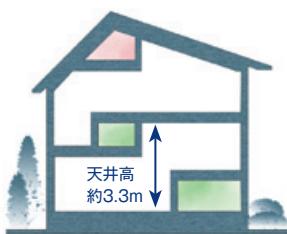


センチュリーモノコックが実現する約5.4mの大開口

自分らしく快適に暮らせるゆとりある賃貸住宅

# Belle Lead SkipHigh ベリーリード スキップハイ

家族構成の変化やライフスタイルの多様化により“自分らしく暮らすこと”へのニーズが高まっています。「Belle Lead SkipHigh」はそんなニーズに応える賃貸住宅です。大収納空間「蔵」や高天井などの多彩な空間構成やZEH対応、永く愛されるシンプルなデザインにより、勝ち(価値) 残る賃貸住宅を提案します。



■ 大収納空間「蔵」 ■ ロフト蔵



## 株主優待制度について

**対象となる株主様** ▶ 毎年9月30日及び3月31日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有されている株主様

**株主優待の内容** ▶ ミサワホーム取扱店で利用可能な優待券の贈呈

住宅の購入時及びリフォーム時において、右記のとおり割引をします。ご利用の際は、優待券を初回見積時までに担当営業にお渡しください。初回見積後はお受けすることができませんのでご注意ください。

建物等区分	割引率	利用条件 (一部抜粋)	
工業化住宅	戸建住宅	建物本体価格の3%	
	賃貸住宅	建物本体価格の1%	● ミサワホーム取扱店で利用可能
	分譲住宅	建物本体価格の3%	● 建物1棟又はリフォーム1回につき1枚利用可能 ● キャンペーンほか、他の割引制度との併用不可
耐震木造住宅 (MJ Wood)	戸建住宅	工事請負価格の2%	● 譲渡可能
	賃貸住宅	工事請負価格の2%	● 販売開始1年未満の建売分譲住宅は対象外
	分譲住宅	建物本体価格の2%	
リフォーム	工事代金の3%	● 100万円以上の工事に限る	

ミサワホーム株主優待  <https://www.misawa.co.jp/corporate/irinfo/shareinfo/incentive.html>

## 単元未満株式(1~99株)の買取請求について

当社の単元株式数は100株となっています。100株未満の株式をご所有の場合、当社に対し買取請求することにより時価で売却することができますので、ご希望の株主様はお取引の証券会社等(特別口座で単元未満株式をご所有の株主様は下記の特別口座の口座管理機関)にお申出ください。(買取請求に際し手数料はいただいていません\*)

※売却益に対する課税等については、税理士等の専門家にご相談ください。

当社株式を40株ご所有の場合



買取価格は、請求書類が到達した日の東京証券取引所の終値です。ただし、その日に取引がない場合、その後最初になされた売買取引の成立価格となります。

特別口座に記録されている株主様のお問い合わせ先 **三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部**

**0120-232-711** (通話料無料)



# CORPORATE INFORMATION

## 会社情報

### 会社の概要

(平成30年9月30日現在)

商号 **ミサワホーム株式会社**  
 設立 平成15年8月1日  
 資本金 11,892,755,813円  
 従業員数 個別 2,605名 連結 8,902名

### 役員及び執行役員

(平成30年10月1日現在)

#### 取締役

取締役会長 竹中 宣雄  
 代表取締役社長執行役員 磯貝 匡志  
 代表取締役副社長執行役員 下村 秀樹  
 取締役専務執行役員 吉松 英之  
 取締役専務執行役員 作尾 徹也  
 取締役常務執行役員 横田 純夫  
 取締役常務執行役員 庄司 健吾  
 取締役 山科 忠  
 取締役 後藤 裕司  
 取締役 寺本 直樹  
 取締役 杉野 正博  
 取締役 岩城 正和

#### 執行役員

常務執行役員 石川 幸彦  
 執行役員 森田 哲之  
 執行役員 原 秀彦  
 執行役員 秋本 一善  
 執行役員 柳谷 三郎  
 執行役員 白浜 一志  
 執行役員 細野 雅信  
 執行役員 在川 秀一  
 執行役員 堤内 真一  
 執行役員 高垣 隆好  
 執行役員 佐藤 徹

#### 監査役

常勤監査役 長谷 博友  
 監査役 深津 浩彦  
 監査役 一柳 若菜

\*取締役のうち、杉野正博、岩城正和の両氏は社外取締役であります。また、監査役長谷博友、一柳若菜の両氏は社外監査役であります。

### 事業所

(平成30年9月30日現在)

本社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル  
 東京支社 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番1号  
 | 東京北支店 | 〒120-0034 東京都足立区千住一丁目4番1号  
 | 東京支店 | 〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目25番3号  
 | 東京西支店 | 〒168-0072 東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号  
 | 東京南支店 | 〒156-0055 東京都世田谷区船橋一丁目37番4号  
 | 多摩支店 | 〒190-0023 東京都立川市柴崎町六丁目17番16号

#### 神奈川県支社

| 神奈川支店 | 〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町90番地6  
 | 横浜北支店 | 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央一丁目35番4号  
 | 町田支店 | 〒194-0013 東京都町田市原町田五丁目8番18号

#### 埼玉・群馬支社

| 埼玉支店 | 〒338-8510 埼玉県さいたま市中央区円阿弥七丁目7番8号  
 | 埼玉西支店 | 〒350-0041 埼玉県川越市六軒町二丁目19番1号  
 | 群馬支店 | 〒370-0001 群馬県高崎市巾尾町17番地1

#### 千葉・茨城支社

| 千葉支店 | 〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区園生町388番地13  
 | 千葉西支店 | 〒273-0005 千葉県船橋市本町二丁目10番14号  
 | 茨城支店 | 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978番地38

#### 愛知支社

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄二丁目19番6号

#### 岐阜名古屋北支社

〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐三丁目16番9号

#### 三重支社

〒514-0004 三重県津市栄町二丁目310番地

#### 和歌山支社

〒640-8155 和歌山県和歌山市九番丁15

#### 沖縄駐在事務所

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖一丁目33番1号

#### 技能訓練センター

〒264-0028 千葉県千葉市若葉区桜木六丁目23番1号

#### 関東資源循環センター

〒270-0217 千葉県野田市はやま1番地の5

### 株式の状況

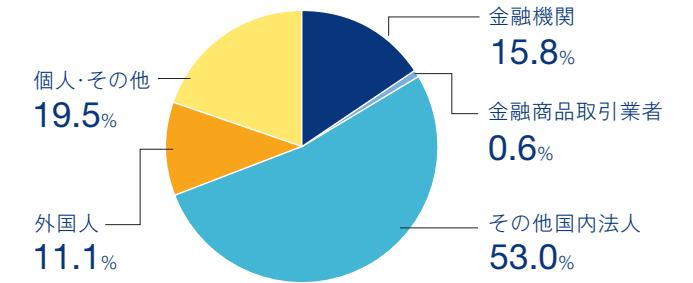
発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	43,070,163 株 (自己株式 8,995 株)
株主数	21,506名

### 大株主(上位10名)

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
トヨタホーム株式会社	21,965	51.0
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,485	3.4
MG従業員持株会	917	2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	841	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	611	1.4
日本生命保険相互会社	609	1.4
株式会社三菱UFJ銀行	559	1.3
GOVERNMENT OF NORWAY	527	1.2
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	490	1.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	449	1.0

\*持株比率は自己株式を控除して計算しています。

### 所有者別持株構成



### 株主メモ

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 0120-232-711(通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告  
 (当社ホームページ <https://www.misawa.co.jp> に掲載します。)

<株式業務窓口> ミサワホーム株式会社  
 総務人事部 総務課  
 TEL 03-3349-8070 FAX 03-5381-7835  
 (土・日、祝祭日を除く9時~18時)

配当金のお受取りは、振込をお勧めします。  
 お手続の詳細は、口座をお持ちの証券会社にお問い合わせください。

<https://www.misawa.co.jp>

ホーム ページのご案内

ミサワホーム 検索

当社ホームページでは、住まいに関する情報をはじめ、IR情報やCSR活動の報告など様々な情報を発信しています。是非一度アクセスしてください。

CSRレポート

当社グループのCSR活動や環境への取組みをまとめたCSRレポート「HEARTH」をPDFでご覧いただけます。

CSRレポートページ